

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017 年 06 月 07 日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	サウサンプトン大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	✓ 3. 公務員		4. 非営利団体
	5. 民間企業(業界: )		6. 起業
	7. その他( )		

派遣先大学の概要

1862年設立のイングランド南部に位置する大学。イギリスの大規模研究型グループであるラッセル・グループに所属。日本人学生の数は学部・院を合わせて28名(2016-17)。人種的マイノリティの割合は9.4%で少なめ。州立高校卒業生の比率が高く、また学生一人当たりの教員の数も多めである。著名なOBには国際刑事裁判所判事など。

留学した動機

英語を身に着けるため。また将来英語でコミュニケーションする可能性のある話者はそれぞれ多様な英語を話すであろうということを考えた際に、今まであまり学ぶ機会がなかったイギリス英語を学ぶことも有益であると考えたため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	9月~	2017年	6月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部4	年生の	3月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			42	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			16	単位
	留学後の取得(予定)単位			18	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2019年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
もっともはやく留学に行ける機会であったため。また一年間の留学の方が英語力などの観点から得るものが大きいと感じたから。					

## 留学の準備

### ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

ビザの準備や渡航手続きなどは、派遣先大学と連絡をとりながら、はやめに進めるとよいと思います。

### ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

Tier4 Visa。東京の英国ビザ申請センターにて申請。一般に申請から10日ほどでパスポートが返却されます。様々な種類の書類が必要となる場合もあるので早めに手続きを進めるとよいです。

### ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

常備薬を英訳して紙媒体で提示したうえで、イギリスの医者にも病状を説明しました。

### ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学に紹介された保険のみでした。

### ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

派遣先大学での単位が認められるかにつき、担当の教官に相談させていただきました。

### ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL ibt 88。IELTS 6.5。東京大学の講義で課題となっている英語論文を読みました。

### ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

コンタクトや薬などは持ち込み制限に留意しながらある程度持ち込むとよいと思います。

## 学習・研究について

### ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Global Justice: Theories & Debates	2	●	Globalisation, Inequalities & Power	2	●
Political Thinkers	2	●	The Ethics & Politics of Migration	2	●
The Politics and Governance of the EU	2	●	Transitional Justice: Law, War & Crime	2	●
International Security	2	●	Issues in Third World Politics	2	●

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

一講義につき、課題論文が1~3本ほどあるのでそれを予習しました。他には、セミナーでも別個に課題文献と宿題が課されることがあったため、その準備をし、また中間・期末の時期には、自らの選んだテーマについて、10本前後の英語論文を読み、それに基づきエッセイを書きました。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

一学期につき、4科目(8コマ)を履修しました。一つの科目は2コマの講義と1コマのセミナーからなり、その全てが45~50分程度です。授業以外に課題文献を読むために割く時間の方が長かったです。

④学習・研究面でのアドバイス

読むことを勧められる参考文献・論文の数には限りがないため、自分の目標を明確にしたうえで、何が必要なかを考えながら課題に取り組む必要があるように思われます。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

英語力に関しては個人差があると思いますが、もし英語が得意でないなら、現地でも英語の学習を行うと英語力の上達が早まるかもしれません。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

宿泊先は寮であり、多くの学生が住む寮が、7人程度のフラットと呼ばれる建物に分けられ、その中に個室が与えられます。ただしトイレと洗面台、シャワーはフラット内で共有でした。家賃は食事つきで一週間あたり135ポンドほど。宿舎はサウサンプトン大学のサイトで見つけました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は、留学期間はおおむね寒くなっていく一方です。大学周辺には美容院やレストランなどがあり、また歯科医と医者、スーパーマーケットなど必要なものは大方そろうと思います。交通機関は大学へはバスを利用、旅行などの際は電車の駅へもバスを利用してすぐに行けます。食事は、寮で提供される食事についていえばバランスなどもいいと思います。お金は、クレジットカードと、デビットカードを利用した海外送金で、送ってもらっていました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

サウサンプトンの治安は良好ですが、イギリスそのものはテロなどもあり、危険に感じることもありました。医者の診断・予防接種は無料ですが、処方箋は有料で、日本よりやや高く感じることもありました。何度か教室中に風邪が流行る時期があり、日本から持参した風邪薬があまり効かなかったため現地で市販の風邪薬を飲みました。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

寮費が朝晩の食事込みで月5万円ほど。プリンター代やコインランドリー使用料が不定期に必要となりました。航空賃は往復10万円。食費(昼ごはん、土日の朝晩)は、月4万円ほど。娯楽費(旅行費)は、合計で50万円ほど。

・留学に要した費用総額とその内訳

150万円程度。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

月8万円。Fung Scholarship.

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Japanese societyに参加していました。様々な国・地域から来た友人と長期の旅行に出かけるなどしました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

サポート体制は非常に整っています。ただしビザ関連のサポートは手厚くないため自己責任の意識を持つことが必要かもしれません。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

全て良好です。ただし図書館にあるPCは学生数に対してはやや少ない印象を受けました。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

メリット:留学でしか得られない経験や語学力の上達は就職活動での強みにできるかもしれません。デメリット:留学していない友人たちが将来の進路を決定していく中で、一人取り残されたような焦りを感じることもあるかもしれません。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

留学によって自分の希望進路への志望度合いがさらに高まりました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

就職活動中の友人からこまめに情報を得るようにしていました。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- |  |                          |
|--|--------------------------|
|  | 1. 研究職                   |
|  | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) |
|  | 3. 公的機関(機関名: )           |
|  | 4. 非営利団体(団体名又は分野: )      |
|  | 5. 民間企業(企業名又は業界: )       |
|  | 6. 起業(分野: )              |
|  | 7. その他( )                |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

個人的には留学の一番のメリットは語学力の上達にあると思います。日本語から遮断されて、英語のみで生活する中で英語の上達はそのスピードを増すと思います。ただ留学すれば何もしなくても英語力が上がるという事ではなく、結局留学を通じて何を成し遂げるにしても本人の努力しだいであるという事だと思います。

②留学後の予定

国家公務員試験に向けて勉強をしたいと考えております。またイギリスではTOEFLとIELTSは受験できるものの、TOEICは受験できなかったため、就活のためにTOEICの受験を考えています。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学でしかできないことは人それぞれだと思いますが、何かを達成するために自分に留学が必要だと感じたならば挑戦してみるのもよいと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特になし。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。